

## 論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Association between maternal active smoking during pregnancy and placental weight: the Japan Environment and Children's Study

和文タイトル: 妊娠中の喫煙と胎盤重量、胎盤重量/出生体重比の関連性

ユニットセンター(UC)等名: 高知UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Placenta

年: 2020 月: 5 巻: 94 頁: 48-53

筆頭著者名: 満田直美

所属UC名: 高知UC

目的: 妊娠中の喫煙と胎盤重量、胎盤重量/出生体重比(PW/BW比)の関連性について検討すること。

方法: エコチル調査に参加している母親を、質問票への回答にもとづいて、喫煙歴のない人、妊娠前に喫煙をやめていた人、妊娠後に喫煙をやめた人、妊娠中も喫煙を続けていた人の4群に分け、それぞれの児の胎盤重量、胎盤重量/出生体重比について多変量解析を用いて検討した。また、妊娠中も喫煙を続けていた人を対象に、喫煙本数と胎盤重量、胎盤重量/出生体重比の関連性についても検討した。

結果: 妊娠中に喫煙していない妊婦と比較し、妊娠中に喫煙していた妊婦では、胎盤重量、胎盤重量/出生体重比がともに高かった。さらに、妊娠中喫煙していた妊婦の中では、喫煙本数が多い方が胎盤重量、胎盤重量/出生体重比が高くなる傾向があった。

考察:(研究の限界を含める)

妊娠中の喫煙により、胎盤重量は重く、出生体重は軽くなり、胎盤重量/出生体重比が大きくなる傾向があることが示唆された。機序は不明であるが、たばこの毒性や喫煙により引き起こされる子宮内の低酸素状態により、胎児の成長抑制や胎盤の代償性肥大が起きている可能性が考えられる。研究の限界としては、胎盤重量の測定方法が各施設で一致していない可能性があること、喫煙については自己申告であることなどが挙げられる。

結論: 妊娠中の喫煙は、胎盤重量、胎盤重量/出生体重比に影響を与え、妊娠中喫煙を継続すると胎盤重量が重く、胎盤重量/出生体重比が大きくなることが示唆された。